

## 3 外壁リフォームの標準施工

### 3-4 外壁リフォームにおける胴縁下地組みについて

#### 2) 既存外壁の不陸調整について

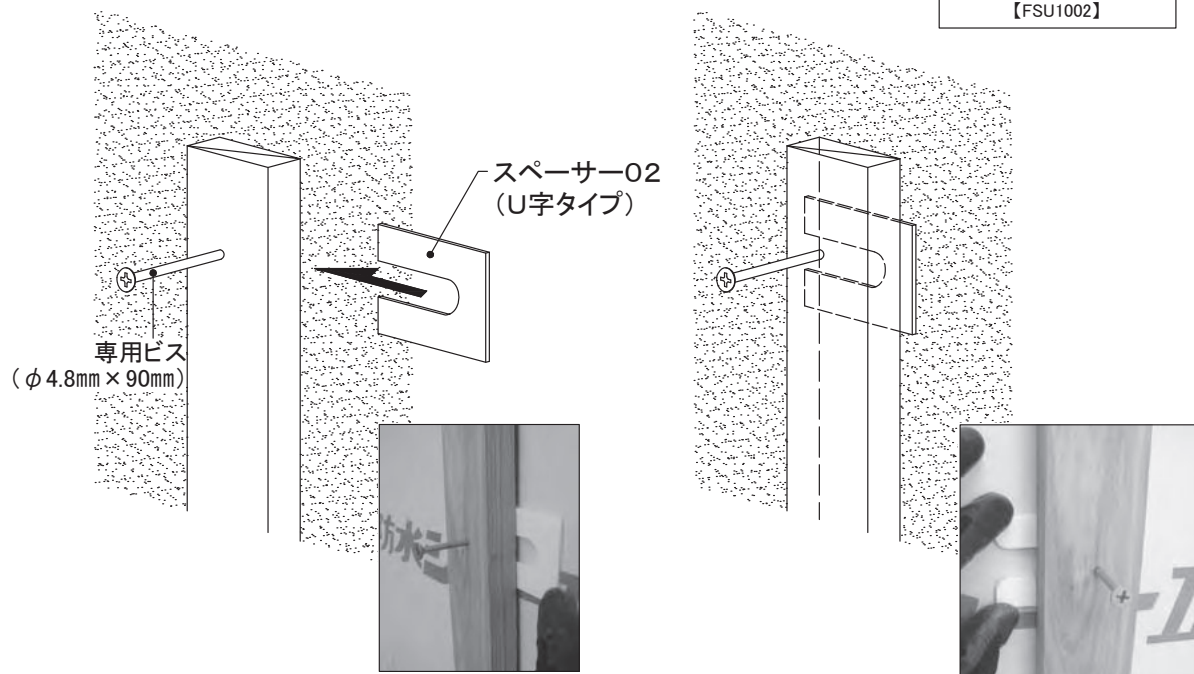
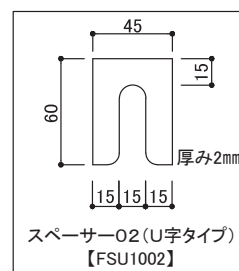
既存外壁に重ね張り施工を行うにあたり、胴縁下地を組む際には不陸を確実に調整し、モエンの施工に適した下地組みが重要となります。不陸調整が不十分だと、モエンの波打ちや破損、脱落などをまねくおそれがありますので、必ず不陸調整を実施した上でモエンの施工を行ってください。

#### <不陸調整>

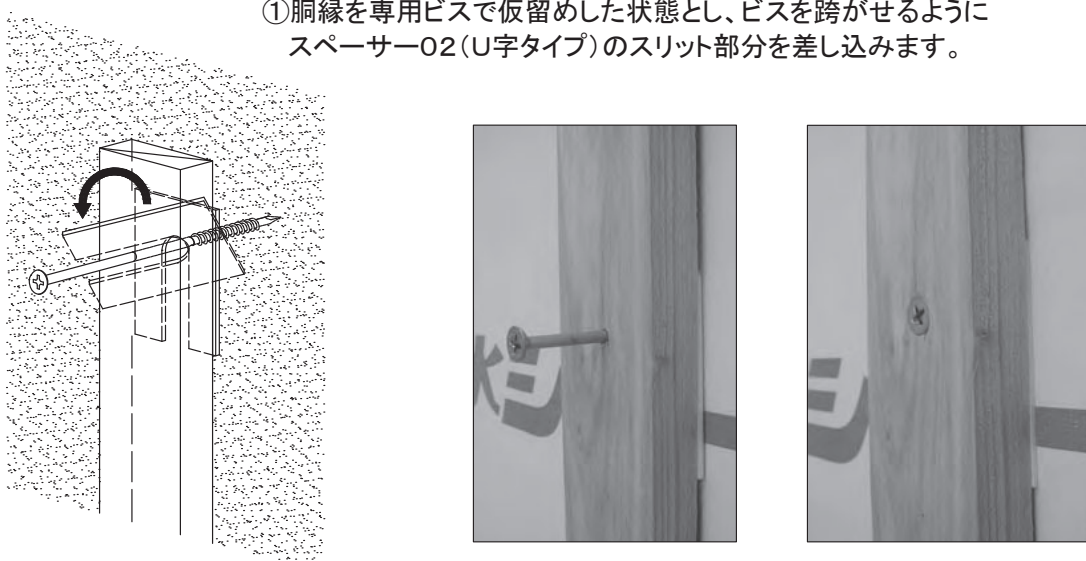
- 胴縁の取り付け面が不陸3mm以内となるように調整してください。

#### <不陸の調整材>

- スペース02 (U字タイプ) 【品番: FSU1002】 (材質: ポリプロピレン 白色)
- 現場調達材: 合板等 ※ 耐水合板などを使用してください。



① 胴縁を専用ビスで仮留めした状態とし、ビスを跨がせるようにスペース02 (U字タイプ) のスリット部分を差し込みます。



② スペース02 (U字タイプ) のスリットを図のように回転させて、ビスを完全に留め付けます。